

新日鐵住金 岩谷直治記念賞を受賞

新日鐵住金株式会社（以下、新日鐵住金）は、公益社団法人岩谷直治記念財団より、第45回（平成30年度）岩谷直治記念賞を受賞しました。平成17年度に旧住友金属工業が受賞して以来、13年ぶりとなります。

岩谷直治記念賞は、エネルギーおよび環境に関する技術開発で、かつ顕著な産業上の貢献が認められる業績を表彰する賞です。

新日鐵住金グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)にも合致したHRX19®をはじめとする優れた製品・サービスの提供を通じて社会の発展に貢献して参ります。

1. 受賞テーマ

高圧水素用高強度ステンレス鋼 HRX19®の開発

2. 受賞者

技術開発本部	鉄鋼研究所	主幹研究員	小薄 孝裕
技術開発本部	鉄鋼研究所	主幹研究員	中村 潤
技術開発本部	鉄鋼研究所	主任研究員	浄徳 佳奈
技術開発本部	鉄鋼研究所	上席主幹研究員	大村 朋彦
技術開発本部	鉄鋼研究所	部長	平田 弘征
尼崎製造所	カスタマー技術部	シニアスタッフ	照沼 正明

3. 開発技術の概要

燃料電池車に燃料を供給する高圧水素ステーション用材料として高い強度（従来材 SUS316L の1.6倍）と優れた耐水素脆性を併せ持ち、溶接施工が可能な世界初のステンレス鋼 HRX19®は2013年の販売開始以降、国内の新設置式水素ステーションに採用されており、CO2の大幅削減を実現するための水素社会基盤の構築に大きく貢献しています。

燃料電池車では航続距離の更なる延長が望まれており、今後、高圧水素の利用が可能となるHRX19®の採用拡大が見込まれます。



(受賞式の様子)



(お問い合わせ先) 総務部広報センター TEL : 03-6867-2146

以上